



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月31日

上場会社名 株式会社モリタホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6455 URL <https://www.morita119.com>
代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員（氏名） 金岡 真一
問合せ先責任者（役職名） 取締役 常務執行役員（氏名） 村井 信也（TEL）06-6208-1910
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	42,633	23.3	4,172	124.8	4,226	106.3	2,554	185.8
2024年3月期中間期	34,588	22.8	1,856	164.1	2,048	136.9	893	146.2

（注）包括利益 2025年3月期中間期 4,619百万円（89.6%） 2024年3月期中間期 2,436百万円（420.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	58.48	—
2024年3月期中間期	20.38	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	136,749	95,365	68.9
2024年3月期	139,695	91,583	64.8

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 94,274百万円 2024年3月期 90,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	29.00	54.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	15.5	12,000	26.9	12,500	29.8	8,400	39.7	192.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料9ページ「中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	46,918,542株	2024年3月期	46,918,542株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	3,167,456株	2024年3月期	3,282,234株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	43,685,144株	2024年3月期中間期	43,862,491株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、為替相場の急激な変動、エネルギー価格や原材料価格の高騰など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、『「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で、人と地球のいのちを守る』というパーパスのもと、サステナビリティ経営を推進するとともに、中期経営計画「Morita Reborn 2025」に掲げたグローバルな総合防災ソリューション企業の実現に向け、企業価値の向上に向けた諸施策に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の業績につきましては、受注高は68,174百万円（前年同期比14,183百万円増、26.3%増）、売上高は42,633百万円（前年同期比8,044百万円増、23.3%増）となりました。損益につきましては、営業利益は4,172百万円（前年同期比2,316百万円増、124.8%増）、経常利益は4,226百万円（前年同期比2,177百万円増、106.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は2,554百万円（前年同期比1,660百万円増、185.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①消防車輛

消防車輛事業は、国内受注が堅調に推移していることに加え、前期にシャシ（車台）の供給遅延により低調であった海外売上が復調しつつあることから、売上高は22,535百万円(前年同期比39.0%増)となり、セグメント利益は1,467百万円（前年同期比866.9%増）となりました。

②防災

防災事業は、消火器の売上が堅調に推移したこと及び消火設備の大型工事案件などが順調に進捗したことにより、売上高は11,674百万円(前年同期比13.3%増)となり、セグメント利益は2,072百万円（前年同期比103.0%増）となりました。

③産業機械

産業機械事業は、製品の売上が堅調に推移し、売上高は2,938百万円(前年同期比2.7%増)となり、セグメント利益は323百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

④環境車輛

環境車輛事業は、製品の売上が堅調に推移し、売上高は5,484百万円(前年同期比5.3%増)となり、セグメント利益は316百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の分析)

当中間連結会計期間の総資産は136,749百万円（前連結会計年度末比2,945百万円の減少）となりました。

流動資産は、77,752百万円となり3,840百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,752百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が8,637百万円減少した一方で、棚卸資産が6,894百万円増加したことによるものです。

固定資産は、58,997百万円となり894百万円増加しました。うち投資その他の資産は、21,839百万円となり1,325百万円増加しました。

流動負債は、30,961百万円となり7,370百万円減少しました。これは主に、電子記録債務が3,273百万円、未払法人税等が1,304百万円減少したことによるものです。

固定負債は、10,422百万円となり643百万円増加しました。

純資産は、95,365百万円となり3,782百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が1,507百万円、その他有価証券評価差額金が915百万円、為替換算調整勘定が1,155百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.8%から68.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,890百万円減少の24,020百万円となりました。なお、当中間連結会計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,554百万円の収入（前年同期は3,176百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益4,224百万円の計上、売上債権及び契約資産の減少額8,964百万円で資金が増加した一方で、棚卸資産の増加額6,141百万円、仕入債務の減少額3,797百万円、法人税等の支払額2,344百万円で資金が減少したことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,418百万円の支出（前年同期は2,443百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,211百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,716百万円の支出（前年同期は322百万円の収入）となりました。これは主に、配当金の支払額1,050百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、当中間連結会計期間の業績等を踏まえ、2024年4月26日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2024年10月31日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,384	24,632
受取手形、売掛金及び契約資産	26,668	18,030
電子記録債権	2,468	2,077
商品及び製品	3,481	4,346
仕掛品	13,047	16,930
原材料及び貯蔵品	8,022	10,167
その他	1,747	1,776
貸倒引当金	△226	△209
流動資産合計	81,592	77,752
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,339	12,608
機械装置及び運搬具（純額）	2,766	2,815
土地	18,778	18,779
建設仮勘定	567	127
その他（純額）	939	863
有形固定資産合計	35,390	35,194
無形固定資産		
のれん	1,101	903
その他	1,096	1,060
無形固定資産合計	2,198	1,964
投資その他の資産		
投資有価証券	14,529	15,867
退職給付に係る資産	1,972	1,979
その他	4,019	4,000
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	20,513	21,839
固定資産合計	58,103	58,997
資産合計	139,695	136,749

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,554	10,206
電子記録債務	10,388	7,115
短期借入金	1,432	977
未払法人税等	2,911	1,606
賞与引当金	1,272	1,319
役員賞与引当金	190	94
製品保証引当金	462	457
リコール関連引当金	80	76
その他	11,038	9,107
流動負債合計	38,332	30,961
固定負債		
退職給付に係る負債	3,965	4,106
役員退職慰労引当金	16	15
その他	5,798	6,301
固定負債合計	9,779	10,422
負債合計	48,111	41,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,746	4,746
資本剰余金	5,137	5,214
利益剰余金	77,273	78,781
自己株式	△3,790	△3,655
株主資本合計	83,366	85,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,704	7,619
繰延ヘッジ損益	5	△10
土地再評価差額金	△2,631	△2,631
為替換算調整勘定	2,553	3,708
退職給付に係る調整累計額	513	501
その他の包括利益累計額合計	7,144	9,188
非支配株主持分	1,072	1,091
純資産合計	91,583	95,365
負債純資産合計	139,695	136,749

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	34,588	42,633
売上原価	25,504	30,491
売上総利益	9,084	12,141
販売費及び一般管理費	7,227	7,968
営業利益	1,856	4,172
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	111	125
受取賃貸料	43	41
為替差益	9	-
その他	135	141
営業外収益合計	306	318
営業外費用		
支払利息	26	47
賃貸費用	6	7
為替差損	-	34
持分法による投資損失	42	164
その他	38	11
営業外費用合計	114	265
経常利益	2,048	4,226
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	-	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除売却損	10	2
移転費用	157	-
特別損失合計	168	2
税金等調整前中間純利益	1,882	4,224
法人税等	974	1,655
中間純利益	908	2,569
非支配株主に帰属する中間純利益	14	14
親会社株主に帰属する中間純利益	893	2,554

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	908	2,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	450	921
繰延ヘッジ損益	△23	△15
為替換算調整勘定	1,019	931
退職給付に係る調整額	△1	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	82	223
その他の包括利益合計	1,527	2,049
中間包括利益	2,436	4,619
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,419	4,598
非支配株主に係る中間包括利益	16	20

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,882	4,224
減価償却費	1,011	1,132
のれん償却額	256	287
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△30	△22
リコール関連引当金の増減額 (△は減少)	△11	△4
受取利息及び受取配当金	△118	△135
支払利息	26	47
持分法による投資損益 (△は益)	42	164
有形固定資産除売却損益 (△は益)	7	1
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	10,897	8,964
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△10,020	△6,141
仕入債務の増減額 (△は減少)	154	△3,797
その他	△185	△914
小計	3,912	3,807
利息及び配当金の受取額	120	138
利息の支払額	△26	△47
法人税等の支払額	△830	△2,344
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,176	1,554
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,168	△1,211
有形固定資産の売却による収入	18	2
有形固定資産の除却による支出	-	△0
無形固定資産の取得による支出	△133	△90
貸付けによる支出	△0	-
貸付金の回収による収入	0	1
その他	△159	△120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,443	△1,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,434	△563
配当金の支払額	△1,005	△1,050
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△104	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー	322	△1,716
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△309
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,046	△1,890
現金及び現金同等物の期首残高	19,651	25,910
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,698	24,020

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	16,213	10,302	2,861	5,199	34,578
その他の収益	—	—	—	9	9
外部顧客への売上高	16,213	10,302	2,861	5,209	34,588
セグメント間の内部売上高又は振替高	80	154	1	110	346
計	16,293	10,457	2,863	5,319	34,934
セグメント利益	151	1,020	399	289	1,861

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,861
セグメント間取引消去	—
棚卸資産の調整額	△5
中間連結損益計算書の営業利益	1,856

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	22,535	11,674	2,938	5,483	42,632
その他の収益	—	—	—	0	0
外部顧客への売上高	22,535	11,674	2,938	5,484	42,633
セグメント間の内部売上高又は振替高	104	191	1	73	372
計	22,640	11,866	2,940	5,558	43,005
セグメント利益	1,467	2,072	323	316	4,180

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,180
セグメント間取引消去	0
棚卸資産の調整額	△7
中間連結損益計算書の営業利益	4,172

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

当中間連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
消防車輛	26,979	+22.3
防災	10,888	+13.0
産業機械	2,991	△0.2
環境車輛	5,672	+12.5
合計	46,531	+17.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格で表示しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 受注実績

当中間連結会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
消防車輛	49,850	+24.0	65,635	+19.7
防災	7,630	+63.8	9,511	+46.7
産業機械	3,374	+3.2	5,018	△4.4
環境車輛	7,319	+25.0	10,971	+29.9
合計	68,174	+26.3	91,137	+21.5

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格で表示しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4 防災事業の防災機器部門は見込生産を行っているため、上記の実績には含まれておりません。

3 販売実績

当中間連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
消防車輛	22,535	+39.0
防災	11,674	+13.3
産業機械	2,938	+2.7
環境車輛	5,484	+5.3
合計	42,633	+23.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。